

留学先国名 : オーストラリア

留学先学校名 : Deakin University

留学期間 : 平成 28 年 2 月 13 日 ~ 平成 28 年 12 月 18 日

2 月に日本から出国し、12 月に帰国するまでオーストラリアに滞在した 10 か月間は、私の人生において最も有意義で充実したものとなりました。

留学に行く前の準備としては、大学でのサポートを受けこれから英語を学ぶぞ、とモチベーションを上げていくことができました。もちろんワクワクした気持ちだけでなく、家族と離れ一人で生活ができるのか、オーストラリアという違った文化の中での生活に馴染めることができるのか、そもそも私の英語がちゃんと通じるのか、などたくさんの不安もありました。ですので、留学前の自分自身の気持ちとしては、オーストラリアにはたくさん楽しいことがあるに違いないというワクワクした気持ちが 6 割、不安が 4 割でした。

オーストラリアに到着して間もなく、DUELI (Deakin University English Language institution) という Deakin University に併設された語学学校で、大学で講義を取るために約 5 か月間、4 つの intake を履修しました。DUELI では EAP (English of Academic Purposes) と呼ばれるアカデミックに進むためのコースが 4 つのレベルで分けられており、GE (General English) と呼ばれる主に話すことに特化したコースが 9 つに分けられ、Preparation for IELTS と呼ばれる IELTS 専門のコースがありました。

Deakin University の講義を取るためには、EAP1,2,3 を必ず履修しなければならなかったため、この 3 つの授業を履修し、さらに GE9 を履修しました。

EAP の授業では、アカデミックに必要なリスニング、ノートテイキング、エッセイのライティングを主に学びました。レベルが上がるにつれ難しくなりましたが、無事にテストに受かり語学学校を卒業し、Deakin University の Bachelor of Art に在籍できることになりました。

Deakin University の本科生になる前に、Deakin 大学が主催するインターナショナルスチューデントを対象としたビーチオリエンテーションに参加しました。オーストラリアの 7 月と言えば真冬なのですが、真冬の海でサーフィンをするという貴重な体験が出来ました。このサーフィンを通して、いろんな国から来た方たちと会話を楽しむことができました。しかし、このビーチオリエンテーションに参加していたほとんどのインターナショナルスチューデントは、ヨーロッパやアメリカ、イギリスから来た英語をすでに話せる方々で、日本人は 5 人くらい、部屋はバラバラに振り分けられたので、他の人はあんなに英語が話せているのに私はみんなの会話の英語を理解するのも一苦労だ、と英語を日常的に使うことの難しさ、英語を話すことができなければ会話に入ることができないという辛さを経験しました。私自身が全く英語を使いこなせないと実感できたおかげで、アカデミックの授業に向けてもっと頑張らなくては、と意識を高めることが出来ました。

アカデミックの授業では、社会学入門、政治学、コミュニケーション、オーストラリアの外交政策の 4 つを履修しました。特に興味深く学ぶことが出来たのは、社会学のうち犯罪社会学というもので犯罪者は社会の

構成によって生み出されるといった内容でした。私が日本の大学で在席している学部では学ぶことのできないことを勉強することができ、とても貴重な経験が出来ました。一番難しかった授業はオーストラリアの外交政策で、そもそも日本の外交政策を勉強したこともなかったので、当初、なぜこの授業を履修してしまったのだらうと後悔したくらいでした。さらに追い打ちをかけて中国、アメリカ、オーストラリアの関係について 2000words を 1 週間以内に提出という課題が出て人生で一番勉強したのではないかと思うくらい毎日図書館にこもりっぱなしでした。しかし、この授業ではオーストラリアと日本の外交関係が取り上げられ、日本人の私たちも知らなかった出来事や違う国の人たちは日本はこんな風に捉えていたのだ、とあらためて日本という国を客観的にみることで面白かったです。そのほかにも 1500words を超える 10 個のエッセイとプレゼンテーション、そして 2 つのテストを無事乗り越えることができ、4 教科とも単位を取ることができました。

日常生活では、時間さえあれば City に行き、オーストラリアでできた友達と遊びました。特にメルボルンにはたくさんカフェがある街で有名だったので、週末は必ずカフェ巡りをしていました。どこのカフェもコーヒーも料理も美味しくて、日本では男性はあまりカフェでお茶をしているところは見られませんが、メルボルンでは男女関係なくカフェを楽しんでいて、とても素敵な町でした。

私はオーストラリアに留学している間はホームステイで、一回目のホストファミリーではオーストラリア人の夫婦と 1 人の日本人、2 人の中国人のホストメイトと約 2 か月間暮らしました。残念ながら、Deakin から遠かったことと、ご飯が合わなかったのでホームステイの家を変えましたが、今でもホストメイトとは仲が良く、連絡を取っています。2 回目のホストファミリーではニュージーランドから来た 3 人の子供たちとホストマザーで Deakin にも City にも近くとても居心地がよく帰国まで一緒に暮らしていました。特に 8 歳のホストシスターと仲良くなれて、英語もたくさん教えてくれてたくさん遊べてとても楽しかったです。

Deakin University では長期の休みがなかったので 3~7 日の休みを見つけたらオーストラリアの国内旅行をしていました。シドニー、ケアンズ、ゴールドコーストの有名な 3 都市に行き、それぞれの都市の特色や文化またスラングなどもあり、色々な文化の違いを感じることができてとても楽しかったです。特にゴールドコーストは海が綺麗で気温も 20 度を下回ることもめったになく、オーストラリアの中で一番好きな都市になりました。

これから留学に行かれる方々は楽しみと不安を感じていると思います。留学はもちろん楽しいことがいっぱいありますが、辛いことにぶつかる時もあります。でも辛いことを乗り越え、留学が終わり日本に帰ってきたときは英語だけでなく、人間として成長できたなと必ず実感することができます。そして留学は自分自身だけのものではないと思いました。辛い時に話を聞いてくれた友人のサポート、そして留学に行かせてくれた両親に本当に感謝しています。留学中は常に感謝の気持ちを忘れない、という心がけも大切です。

これから留学に行く皆さんが充実した留學生活が送れますことを願っております。